

## 第四紀研究投稿規定

(2011 年 8 月 26 日, 2013 年 8 月 22 日, 2017 年 12 月 17 日, 2019 年 1 月 12 日, 2019 年 6 月 30 日, 2021 年 1 月 22 日, 2021 年 4 月 8 日, 2023 年 3 月 22 日, 2024 年 8 月 29 日 評議員会一部改正)

### 1. 投稿資格

投稿者の少なくとも 1 人は投稿時に本会会員であること。ただし、編集委員会による依頼投稿の場合はこの限りではない。

### 2. 第四紀研究に投稿しうる原稿

内容が日本第四紀学会倫理憲章前文にある第四紀に関わるものであり、体裁が別に定めた「執筆要項」に合致する、と編集委員会が認めたもの。

2-1. 言語：日本語または英語。

2-2. 原稿の種目

**論説 Article**：投稿者自身によるオリジナルで未公表の研究成果をまとめたもの。

**短報 Short Article**：研究の中間報告など大きな研究の一部をなすもの、および速報性を必要とするもの、および資料として特に重要なもの。

**総説 Review**：ある分野に関する研究成果を総覧し、総合的にまとめ、研究史、研究の現状、将来への展望などにふれたもの。

**討論 Discussion**：本誌に掲載された論説・短報・総説などについて、投稿原稿のかたちで 1 年間、コメント（賛否・注釈・質問など）を受け付け、編集委員会の判断により、意義のあるものを誌上に公開する。必要に応じて、原著者の回答も掲載する。

**資料 Note**：露头・化石・遺物・景観などのスケッチ・写真および第四紀学的に貴重な標本・資試料などに平易な説明をつけたもの。

**口絵 Pictorial**：第四紀学に関連する露头・化石・遺物・景観などの写真や重要な図などに簡単な説明をつけたもの。ただし、カラー化によって情報を出すことが不可欠であると編集委員会が認めたものに限り。

**解説 Comment**：第四紀学に関連するテーマ・用語などについての解説。

**講座 Lecture**：ある分野の研究の現状・成果や調査法・分析法などを、特に他分野の会員に紹介・普及する目的で平易に書かれたもの。

**書評 Book Review**：単行本などの内容の紹介および批評。

**雑録 Miscellany**：学会もしくは第四紀学に関する記

事・報告など。ただし、編集委員会が認めたものに限り。

2-3. **原稿の長さ**：総説は刷り上がり 24 ページ以内、論説・講座は 16 ページ以内、短報は 8 ページ以内、討論・解説・資料は 4 ページ以内、口絵・書評は 2 ページ以内とする。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。なお、刷り 1 ページは引用文献を除くと 25 字×44 行×2 段で、引用文献は 28 字×62 行×2 段である。やむを得ず超過した場合は、その費用は依頼原稿を除き著者の負担とする。

2-4. **電子付録**：著者の申し出があり、かつ別途定める第四紀研究電子付録掲載要項に基づいて編集委員会が適当と判断する場合、原稿の掲載にあわせて、原稿の内容の一部を第四紀研究電子付録として J-STAGE Data に公開することができる。

### 3. 不正行為（特定不正行為）の禁止

以下に示す、投稿者による不正行為（特定不正行為）<sup>注1</sup>を禁止する。

- (1) 捏造 存在しないデータ、研究結果などを作成すること。
- (2) 改ざん 研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果などを真正でないものに加工すること。
- (3) 盗用 他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文または用語を当該研究者の了解または適切な表示なく流用すること。

注 1：不正行為（特定不正行為）については以下に基づく。

文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」

([https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/26/08/\\_icsFiles/afieldfile/2014/08/26/1351568\\_02\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/_icsFiles/afieldfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf))

### 4. 二重投稿の禁止

二重投稿とは、印刷物あるいは電子媒体において、既に出版された、ないしは、他の学術誌に投稿中の論文と本質的に同一の内容の原稿をオリジナル論文として投稿する行為である<sup>注2</sup>。二重投稿を第四紀研究では禁止する。

注 2：二重投稿については以下に基づく。

日本学術会議「回答 科学研究における健全性の向上について」(<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-k150306.pdf>)

## 5. 著作権

5-1. ほかの出版物または投稿中の論文と重複した内容を持つ原稿は、投稿原稿の本文中に必ずその旨を明記し、投稿者自身で著作権問題を解決し、かつそれを示す資料を添える。

5-2. ほかの出版物より図・表などを引用する場合は、転載許可を受けるなど、投稿者自身が著作権問題を解決しておくものとする。

5-3. 掲載された論文の著作権(著作財産権, copyright)およびすべての媒体を通じての公表に関する権利は、本誌(冊子体・電子媒体などの形式にかかわらず)に掲載された時点から日本第四紀学会に帰属するものとする。

5-4. 日本第四紀学会が著作権を保有する著作物を利用するにあたっては、別途定める出版物利用規定に従い、日本第四紀学会からの受諾を得るものとする。

## 6. 投稿手続き

投稿は以下のいずれかによる。詳細は、別に定める「執筆要項」も参照すること。

電子投稿の場合は、「原稿・図・表・送り状・所定の保証書(押印またはサイン入り)」をPDF形式で保存し、電子メールの添付書類として、編集委員会(本規定の末尾および会誌奥付の学会事務局のメールアドレス)に送付する。原稿・図・表は可能な限り一つのファイルとする。ファイルが5MBより大きい場合には大容量ファイル転送サービスなどを利用する。

郵送による投稿の場合は、封筒に「第四紀研究原稿」と明記して原稿・図・表・送り状のコピー3部とその電子ファイルを、所定の保証書(押印またはサイン入り)とともに、編集委員会(本規定の末尾および会誌奥付の学会事務局の住所)に送付する。編集委員会から要請があった場合には、図・表の原図を提出する。

## 7. 受付

編集委員会が原稿を受けとった日を受付日とする。

## 8. 受付後の原稿の処理

8-1. 編集委員会は、投稿原稿の内容に応じてレフェリーを決め、査読を依頼する。

8-2. 編集委員会は、査読結果を参考に原稿の内容・表現に問題があると判断したときには、投稿者に修正を求めることができる。また「執筆要項」に従い、用語・用字などを変更することがある。活字の種類・大

きさ、図表の大きさや全体の体裁は、編集委員会が決める。

8-3. 原稿が修正のため投稿者の手元にかえったまま、6ヶ月経過したときは、その投稿原稿は取り上げられたものとみなす。

8-4. 投稿原稿の受理は編集委員会が決める。編集委員会が掲載を決定した日付をもって受理日とする。投稿者は、編集委員会から投稿原稿受理の通知があった場合には、著作権等譲渡同意書に必要な署名をし、最終原稿とともに提出する。これにより、掲載が許可される。

8-5. ワードプロセッサ使用の原稿は、受理時の最終原稿の電子ファイルを提出する。

8-6. 受理後、原稿の細部の体裁は、編集委員会が調整・判断し、修正を求めることがある。

8-7. 投稿原稿の掲載不可は編集委員会が決める。掲載不可となった原稿・図・表などは原則として返却せず、編集委員会の責任で適切に処分する。

## 9. 校正

著者校正は初校時のみ行う。著者校正時の加筆は原則として認めない。著者は、初校ゲラを受け取ったら速やかに校正を行い、編集委員会(編集書記)に返送する。期日までに返送がない場合は、著者校正を省略するか、次号にまわすこともある。

校正時の著者責任による図・表等の差し替えにかかる費用は全額著者負担とする。

## 10. 別刷

別刷は50部単位で希望することができる。別刷費用については別途定める。掲載された原稿の電子ファイル(PDFファイル)は著者(論文責任者)に提供される。

## 11. 原稿の返却

掲載された原稿・図・表などは原則として返却せず、編集委員会の責任で適切に処分する。掲載されなかった原稿・図・表などは、上記の投稿規定8-7.に定めたとおりとする。返却を希望する場合は、投稿時に編集委員会まで申し出る。

## 12. 投稿規定の改正

この「投稿規定」の改正は、執行部会が原案を作り、評議員会に報告して承認を求める。「執筆要項」および「電子付録掲載要項」は編集委員会がこれを定め、改正があったときは執行部会に報告し、承認を求める。

付則 本規定は2024年8月29日から実施する。

・上記の投稿規定 2-3. 超過分の著者負担は、1 ページにつき 10,000 円とする。

・原稿送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会編集委員会  
メールアドレス daiyonki@shunkosha.com

## 執筆要項

### 1. 原稿

使用する言語は日本語、または英語とする。印刷用紙は A4 判に設定し、ワードプロセッサで作成する。日本語の場合は 1 ページ 25 字×22 行に設定し、行間は 1 行分程度あけ、用紙の上下・左右に余白を十分とる。英語の場合は 12 ポイント、22 行に設定する。1 ページ目に表題、著者名、ランニングタイトルを、2 ページ目から摘要、キーワードを記入する。原稿にはページ番号を入れること。

### 2. 表題・著者名

著者名の右肩に\*<sup>1</sup>, \*<sup>2</sup>, ……の記号をつけ、原稿の 1 ページ目の下部に所属とその所在地、論文責任者の連絡先(住所・E メールアドレスなど)を明記する。英文タイトルに用いる大文字は、タイトルの先頭と固有名詞の先頭のみとし、他は小文字を用いる。

### 3. ランニングタイトル(欄外表題)

1 ページ目の中段に表題と著者名のそれぞれについてランニングタイトルを入れる。ランニングタイトルは各ページの欄外に掲載する短い表題と著者名のことである。本文が日本語の場合には 30 字以内、英語の場合には 8 語以内とする。

### 4. 摘要・キーワード(改ページ)

- 4-1. 摘要とは原稿のページを改めて書き始める。
- 4-2. 論説・短報・総説には、本文と同じ言語で内容の要点をまとめた摘要(abstract)をつける。
- 4-3. 摘要の長さは、本文が日本語原稿の場合は 400 字以内、本文が英語原稿の場合は 300 語以内とする。
- 4-4. 英語の摘要には、すみやかに校閲するために日本語対訳を別紙で添える。ただし、この対訳は印刷されない。
- 4-5. すべての種目の原稿には、時代・地域・対象・方法などを表す 5 語程度のキーワード(keywords)を本文と同じ言語でつける。

(例) キーワード：ナイフ形石器、完新世、大阪層群、関東平野、花粉分析

Keywords : backed-blade, Holocene, Osaka Group, Kanto Plain, pollen analysis

### 5. 本文(改ページ)

- 5-1. 本文は原稿のページを改めて書き始める。
- 5-2. 文章は現代かなづかい、常用漢字を用いる。ただし、固有名詞や慣用句はこの限りではない。
- 5-3. 句読点などは、. , . : ; 「 」 ( ) —を用い、本文ではそれぞれ 1 字分をあてる。
- 5-4. 学名・人名・地名・(訳語が定着していない)術語などを除き、外国語綴りあるいはそのカタカナ表記は避ける。
- 5-5. 生物の和名は、初出時に原則として学名を併記する。
- 5-6. 地名などの漢字で読み誤るおそれのあるものには、ふりがなをつける。
- 5-7. 数量の単位は原則として SI 単位を用いる(例: m, kg, m/s<sup>2</sup>, Hz, °C, mol)。その他の略号については慣例に従う(例: <sup>14</sup>C, 年 BP, yrs BP, cal BP, Ma, ka, Å, ca., vs., etc.)。年号を除き、数量は原則として 3 桁ごとにカンマを付す(図、表においても同様とする)。
- 5-8. 緯度・経度の表記は世界測地系(日本測地系 2000 = Japanese Geodetic Datum 2000)を原則とする。特に必要のある場合には測地系を明示して使用する。
- 5-9. 英語で原稿を執筆する場合には、適切な校閲をうけた原稿を投稿する。
- 5-10. 次の字体はあらかじめ指定しておく。ただし、章立てなどの見出しの太文字は、編集委員会で指定する。
  - i) 生物の学名などイタリック体で印刷される字体は、下線を引く。
  - ii) まぎらわしい文字は誤読防止の指示を記入する(例: l-エル, 1-イチ, I-アイ, α-アルファ, γ-ガンマ, w-小文字, W-大文字)。
  - iii) 数式の場合は、特に上ツキ、下ツキ、および大文字・小文字・イタリック体などの指定をする。
- 5-11. 脚注は原則として認めない。ただし、やむを得ず脚注をつけることが編集委員会に認められた場合には、その箇所に通し番号で<sup>1), 2)</sup>…の記号をつけ、別紙にまとめて書く。
- 5-12. 原稿には行番号をつける(連続番号が望ましい)。

### 6. 図

- 6-1. 図にはそれぞれ図 1, 図 2, Fig. 1, Fig. 2 のように番号をつける。また、本文の右側に挿入希望位置を記入する。

- 6-2. 図は明瞭に書かれたもので、そのまま電子入稿が可能なものに限る。
- 6-3. 原図の大きさは A4 判大とする。小さい図（表）の場合でも A4 判大の用紙に書くか、貼る。図には著者名と図番号を明記する。
- 6-4. 図の内容の大きさを示す場合には、図にスケールを入れる。
- 6-5. 図の縮小率は編集委員会で決めるが、希望縮小率（実際に縮小して確認のこと）を添え書きできる。一般には 1 ページ幅 (14.5 cm) またはその半幅 (7.0 cm) に縮小することが多いので、縮小後も明瞭に見えるように線の太さ、文字の大きさに注意する。また、空白部分とキャプションの量のバランスにも注意する。コンピュータで作図する際には、複雑な模様の使用は避ける。特にグラデーションは、印刷時に意図どおりに出るとは限らないので極力避ける。
- 6-6. 地図を使用する場合には、方位を示す記号と縮尺を示すスケールを必ず入れる。方位を示す場合は、真北と磁北のいずれかの区別が明らかな記号とする。
- 6-7. 凡例はその説明とともにできるだけ図中に入れる。
- 6-8. 受理後の最終原稿の図は電子ファイルで提出する。詳細は「14. 受理原稿の入稿」を参照のこと。

## 7. 表

- 7-1. 表には、表 1, 表 2, Table 1, Table 2 のように番号をつける。本文右側に挿入希望位置を記入する。
- 7-2. 表は、縦・横の罫線による枠組みの中に文字や記号を記入したものに限る。罫線間の長さに意味がある場合や曲線を含むもの、枠の中に図が書かれたものは「図」扱いとなる。表はそのまま写真製版が可能なものに限る。
- 7-3. 表のキャプションは表の意味を簡潔に表すだけのものとする。凡例などの説明は表の下に入れ、表と一体のものにする。
- 7-4. 受理後の最終原稿の表は電子ファイルで提出する。詳細は「14. 受理原稿の入稿」を参照のこと。

## 8. カラー図・カラー表

編集委員会でカラー図・カラー表を認めることがある。著者はその旨を投稿時に申し出ること。冊子体用の印刷費用は著者負担とする。J-STAGE で公開されるファイル (PDF 形式) では、原則としてカラー図・カラー表が無償で用意される。

## 9. キャプション（図表などの表題や説明文）

別紙にまとめて書く。日本語論文の場合でも日本語のほかに英語キャプションをつけることができる。

## 10. 引用

- 10-1. 文中の引用は次の例にならう。  
これらの研究（湊・陶山, 1950；多田, 1975；松井ほか, 1977）によると……………  
……………という結論が得られている (Cox and Dalrymple, 1967).  
小林 (1951a, b), 湊 (1974) の研究によれば……………  
……………と Miller (1970 : p.25-26) は述べている。
- 10-2. 卒業論文・修士論文・博士論文は原則として引用しない。
- 10-3. 投稿中であっても受理されていない論文は引用しない。なお、本誌の特集号などのように、同一のテーマに関連した論文を同一号に集める必要があると編集委員会が認める場合に限り、未受理の段階での引用を認めることがある。受理後未刊行のものについては、(印刷中) や (in press) として引用することができるが、投稿時に当該論文のコピーと受理通知書 (コピー可) を添付する。ただし、オンラインで先行公開されている場合には、その旨と当該論文の DOI (Digital Object Identifier) を編集委員会へ通知するだけでよい。
- 10-4. ホームページの引用は原則として公的機関等が運用するものからのみとし、URL と、表題、参照した日付を引用文献に明記する。

## 11. 引用文献

- 11-1. 引用文献は、日本語・英語を問わず著者のアルファベット順にならべる。同一著者の場合は年代の古い順にならべ、年代が等しい場合は本文の引用順に a, b, ……をつける。印刷中 (in press) として引用した論文をもっとも新しいものとして扱う。同一著者が筆頭著者となった共著論文が引用されている場合には、単著論文を前にする。2 名の共著論文では、筆頭著者と第二著者のアルファベット順とし、同一組み合わせの場合には年代の古い順にならべる。3 名以上の場合には、第二著者のアルファベット順位にかかわらず年代の古い順とする。3 名以上の著者が同一の年に出した複数の論文が引用されている場合には、引用順に a, b, c をつける。例えば、本文中では引用の順に BB ほか (2004a), BB ほか (2004b) と区別し、引用文献欄では、以下のように並べる (B, A, C はアルファベットを表す)。  
BB・CC・AA (2004a) ……  
BB・AA・CC (2004b) ……
- 11-2. 雑誌名は原則として完記する。



- 11-3. 雑誌の巻数は数字のみとする。巻・号のある雑誌で通巻ページの場合、号数は省略する。毎号ページが変わる場合には号数を ( ) に入れ、例えば、10 (2) のようにする。号のみの場合は no. を付して記載する。
- 11-4. ページの表記については、単行本の総ページを示すときは 25 p, 単行本および論文の該当ページを示すときは、コロン (:) に続き 10-25 のようにする。単行本からの引用など、その他の表記は引用文献の例にならう。
- 11-5. 学術雑誌などの電子出版物を引用する際には、特定の引用表記方法が指定されている場合を除いて、通常の印刷出版物と同様の表記とする。印刷出版物と電子出版物が同時に出版されている場合には、原則として印刷出版物を引用する。
- 11-6. 日本語論文における引用文献の例
- Cox, A. and Dalrymple, G.B. (1967) Geomagnetic polarity epochs, Nunivak Island, Alaska. *Earth and Planetary Science Letters*, 3, 173-177.
- Embleton, C. and King, C.A.M. (1957) *Periglacial geomorphology*. 230 p, Halsted Press.
- 藤原 治 (2004) 津波堆積物の堆積学的・古生物学的特徴. 藤原 治・池原 研・七山 太編「地震イベント堆積物—深海から陸上までのコネクション」, 地質学論集 no. 58, 35-44.
- 貝塚爽平・鈴木毅彦 (1992) 関東ロームと富士山. 土と基礎, 40 (3), 9-14.
- 川辺禎久・坂口圭一・斎藤 眞・駒澤正夫・山崎俊嗣 (2004) 20 万分の 1 地質図幅「開聞岳及び黒島の一部」. 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 小林国夫 (1951a) フォッサ・マグナ西部付近に於ける第四紀編年. 信州大学文理学部紀要, 1, 9-25.
- 小林国夫 (1951b) 常念岳東方の断層地層に関する一考察. 地理学評論, 24, 377-381.
- 国土地理院 (1997) 数値地図 50 m メッシュ (標高) 日本-II. CD-ROM 版.
- 小松原 琢・中澤 努・兼子尚知 (2004) 木更津地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 64 p, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- Lisiecki, L.E. and Raymo, M.E. (2005) A Pliocene-Pleistocene stack of 57 globally distributed benthic  $\delta^{18}\text{O}$  records. *Paleoceanography*, 20, PA1003, doi: 10.1029/2004PA001071.
- メイスン, S. (矢島祐利訳) (1955) 科学の歴史. 695 p, 岩波書店.
- 松井 健・杉村 新・渡辺直経 (1977) 日本第四紀学会史. 日本第四紀学会編「日本の第四紀研究」: 1-9, 東京大学出版会.
- Miller, H. (1970) Method and results of river terracing. Dury, G.H. (ed.) *Rivers and river terraces*: 19-35, Macmillan.
- 湊 正雄 (1974) 日本の第四系. 167 p, 築地書館.
- 湊 正雄・陶山国雄 (1950) 沖積世の問題. 地球科学, 3, 1-16.
- National Geophysical Data Center (2006) 2-minute gridded global relief data (ETOPO2v2). <http://www.ngdc.noaa.gov/mgg/fliers/01mgg04.html>, 2008 年 3 月 17 日引用.
- 能城修一・鈴木三男 (1989) 野川中洲北遺跡の木材遺体群集. 小金井市遺跡調査会編「野川中洲北遺跡—自然科学分析編」: 69-93, 小金井市遺跡調査会.
- Olschesky, K.S. and Laws, R.A. (2006) Data report: Pliocene-late Pleistocene diatom biostratigraphic data from ODP Leg 185, Hole 1149A. Ludden, J.N., Plank, T. and Escutia, C. (eds.) *Proceedings of Ocean Drilling Program, Scientific Results*, 185 (2), 1-31.
- 奥野 充・松島義章・長岡信治・森脇 広・新井房夫・中村俊夫 (1998) 南九州, 鹿児島湾の燃島貝層中のベッコウガキの加速器  $^{14}\text{C}$  年代. 福岡大学理学集報, 28, 123-128.
- 奥野 充・松島義章・長岡信治・福島大輔・成尾英仁・森脇 広・小林哲夫 (2000) 始良カルデラ東壁にみられる最近 10 万年間のテフラ. 火山, 45, 41-46.
- 相模原市教育委員会 (2003) 田名向原遺跡 I. 87 p, 相模原市教育委員会.
- Stow, D.A.V. and Piper, D.J.W. (eds.) (1984) *Fine-grained sediments: deep-water processes and facies*. 659 p, Geological Society, Special Publication, no. 15, Blackwell.
- 多田文男 (1975) 日本における砂丘研究史. 日本第四紀学会講演要旨集, no. 4, 25-26.
- 〈博士論文等の未公表論文の引用例〉
- Kubo, S. (1995MS) Buried terraces in the lower Sagami Plain, central Japan: Indicators of sea levels and landforms during the Marine Isotope Stage 4 to 2. Doctoral dissertation to Tokyo Metropolitan University, 147 p.

## 11-7. 英語論文における引用文献の書き方の例

本文が英語の場合、引用文献リストには、日本語のみの論文には (J) を、英文の abstract がある日本語の論文には (J+E) を各論文の最後につけ、リストの最後に一行あけて、(J) in Japanese, (J+E) in Japanese with English abstract. と記す。

Kamei, T. (1962) Some problems on the succession of the Quaternary mammalian faunas in Japan. Earth Science (Chikyu-kagaku), 60・61, 23-34. (J+E)

Kamei, T. (1979) An aspect on the Cenozoic mammals in the Japanese Islands. Honyurui Kagaku (Mammalian Science), 38, 1-11. (J)  
(J) in Japanese, (J+E) in Japanese with English abstract.

## 12. 要旨

12-1. 論説・総説・短報には、本文と異なる言語（英語論文の場合は日本語）で、内容を要約した要旨（summary）をつける。要旨の長さは刷り上がり 1 ページ以内とする。ただし、短報の場合には省略することができる。

12-2. 本文と異なる言語の表題、著者名、要旨、キーワード、そして、著者名の右肩に \*<sup>1</sup>, \*<sup>2</sup>……の記号をつけ、著者の所属とその所在地、論文責任者の連絡先（住所・E メールアドレスなど）を書く。英文タイトルに用いる大文字は、タイトルの先頭と固有名詞の先頭のみとし、それ以外は小文字とする。著者の姓名は完記する。

12-3. 英語要旨には、すみやかに校閲するために日本語対訳を別紙で添える。ただし、この対訳は印刷されない。

## 13. 著者の貢献の記述

共著論文においては、著者全員の氏名と貢献の内容を引用文献の次に簡潔に記述する。英語論文では英語または日本語で記述する。

例）文京弥生：ボーリングコア観察と記載、全体総括、論文執筆を担当。国本一雄：珪藻分析と古環境の考察を担当。大町 栄：テフラの分析を担当。黒部五郎：年代測定を担当。

## 14. 受理原稿の入稿

14-1. 入稿は次のいずれかで行う。提出先のメールアドレスなどは編集委員会から著者に連絡する。

| 提出方法   | 入稿原稿             |                             |                                                                              | 同意書       |
|--------|------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 電子メール* | 原稿（本文と図・表）の電子データ | 原稿（本文）を PDF 形式で保存したファイル     | 原稿（図・表）を JPEG または TIFF 形式で保存したファイル（印刷可能なファイルサイズであること）およびそれらを PDF 形式で保存したファイル | 著作権等譲渡同意書 |
| 郵送 A   | CD-ROM に保存       |                             |                                                                              | 著作権等譲渡同意書 |
|        | 原稿（本文と図・表）の電子データ | 原稿（本文）を PDF 形式で保存したファイル     | 原稿（図・表）を JPEG または TIFF 形式で保存したファイル（印刷可能なファイルサイズであること）およびそれらを PDF 形式で保存したファイル |           |
| 郵送 B   | CD-ROM に保存       |                             |                                                                              | 著作権等譲渡同意書 |
|        | 原稿（本文と図・表）の電子データ | 原稿（本文と図・表）を PDF 形式で保存したファイル | 印刷原稿（図・表）をスキャンして PDF 形式で保存したファイル                                             |           |
| 郵送 C   | CD-ROM に保存       | 印刷原稿 1 部                    |                                                                              | 著作権等譲渡同意書 |
|        | 原稿（本文と図・表）の電子データ |                             |                                                                              |           |

\* ファイルサイズが 5 MB より大きい場合には大容量ファイル転送サービスなどを利用する。

14-2. 電子ファイルの形式は、jpg, tiff, pdf 形式とする。これら以外の形式を使用する場合には、編集委員会に問い合わせること。

口画像の場合に 300～600 dpi, カラー画像の場合に 350～600 dpi とすること。

14-3. 解像度は、線画の場合に 600～1200 dpi, モノク

付則 本要項は 2023 年 2 月 1 日から実施する。

別 刷 単 価 表（送料別）

|       | 50 部        |             | 100 部       |             | 150 部       |             | 200 部       |             | 250 部       |             | 300 部       |             | 350 部       |             | 400 部       |             | 450 部       |             | 500 部       |             |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|       | 表紙代： ¥3,080 | 表紙代： ¥3,080 | 表紙代： ¥3,850 | 表紙代： ¥3,850 | 表紙代： ¥4,510 | 表紙代： ¥4,510 | 表紙代： ¥5,280 | 表紙代： ¥5,280 | 表紙代： ¥5,940 | 表紙代： ¥5,940 | 表紙代： ¥6,710 | 表紙代： ¥6,710 | 表紙代： ¥7,480 | 表紙代： ¥7,480 | 表紙代： ¥8,140 | 表紙代： ¥8,140 | 表紙代： ¥8,910 | 表紙代： ¥8,910 | 表紙代： ¥9,570 | 表紙代： ¥9,570 |
|       | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        | 本文のみ        | 表紙あり        |
| 2ページ  | 3,080       | 6,160       | 4,070       | 7,920       | 5,060       | 9,570       | 5,940       | 11,220      | 6,930       | 12,870      | 7,920       | 14,630      | 8,910       | 16,390      | 9,900       | 18,040      | 10,780      | 19,690      | 11,770      | 21,340      |
| 4ページ  | 3,960       | 7,040       | 5,060       | 8,910       | 6,050       | 10,560      | 7,150       | 12,430      | 8,250       | 14,190      | 9,350       | 16,060      | 10,450      | 17,930      | 11,550      | 19,690      | 12,650      | 21,560      | 13,750      | 23,320      |
| 6ページ  | 4,730       | 7,810       | 5,940       | 9,790       | 7,150       | 11,660      | 8,360       | 13,640      | 9,570       | 15,510      | 10,780      | 17,490      | 11,990      | 19,470      | 13,200      | 21,340      | 14,410      | 23,320      | 15,620      | 25,190      |
| 8ページ  | 5,610       | 8,690       | 6,930       | 10,780      | 8,250       | 12,760      | 9,570       | 14,850      | 10,890      | 16,830      | 12,320      | 19,030      | 13,640      | 21,120      | 14,960      | 23,100      | 16,280      | 25,190      | 17,600      | 27,170      |
| 10ページ | 6,490       | 9,570       | 7,920       | 11,770      | 9,350       | 13,860      | 10,780      | 16,060      | 12,320      | 18,260      | 13,750      | 20,460      | 15,180      | 22,660      | 16,610      | 24,750      | 18,040      | 26,950      | 19,580      | 29,150      |
| 12ページ | 7,260       | 10,340      | 8,910       | 12,760      | 10,450      | 14,960      | 11,990      | 17,270      | 13,640      | 19,580      | 15,180      | 21,890      | 16,720      | 24,200      | 18,370      | 26,510      | 19,910      | 28,820      | 21,450      | 31,020      |
| 14ページ | 8,140       | 11,220      | 9,900       | 13,750      | 11,550      | 16,060      | 13,200      | 18,480      | 14,960      | 20,900      | 16,610      | 23,320      | 18,370      | 25,850      | 20,020      | 28,160      | 21,670      | 30,580      | 23,430      | 33,000      |
| 16ページ | 9,020       | 12,100      | 10,780      | 14,630      | 12,650      | 17,160      | 14,410      | 19,690      | 16,280      | 22,220      | 18,040      | 24,750      | 19,910      | 27,390      | 21,670      | 29,810      | 23,540      | 32,450      | 25,300      | 34,870      |
| 18ページ | 9,900       | 12,980      | 11,770      | 15,620      | 13,750      | 18,260      | 15,620      | 20,900      | 17,600      | 23,540      | 19,580      | 26,290      | 21,450      | 28,930      | 23,430      | 31,570      | 25,300      | 34,210      | 27,280      | 36,850      |
| 20ページ | 10,670      | 13,750      | 12,760      | 16,610      | 14,850      | 19,360      | 16,830      | 22,110      | 18,920      | 24,860      | 21,010      | 27,720      | 22,990      | 30,470      | 25,080      | 33,220      | 27,170      | 36,080      | 29,260      | 38,830      |
| 22ページ | 11,550      | 14,630      | 13,750      | 17,600      | 15,950      | 20,460      | 18,040      | 23,320      | 20,240      | 26,180      | 22,440      | 29,150      | 24,640      | 32,120      | 26,840      | 34,980      | 28,930      | 37,840      | 31,130      | 40,700      |
| 24ページ | 12,430      | 15,510      | 14,740      | 18,590      | 16,940      | 21,450      | 19,250      | 24,530      | 21,560      | 27,500      | 23,870      | 30,580      | 26,180      | 33,660      | 28,490      | 36,630      | 30,800      | 39,710      | 33,110      | 42,680      |

※カラー 1 ページにつき、20 円増しにて申し受けいたします。別途送料が必要です  
例：「8 ページ/50 部（表紙あり）/カラー 1 ページ」の場合  
基本：8,690 円＋カラー代：20 円×1 ページ×50 部＝1,000 円 合計：9,690 円

\* カラーページの印刷料金について  
カラーページの印刷料金実費は著者負担です。 カラーページの印刷料金については日本第四紀学会事務局にお問い合わせください。 なお、査読・校正に伴う修正によって投稿時に見積もったカラーページの印刷料金が増える場合があります。  
印刷料金の見積もり算出法（参考）  
・ 1 ページにつき 11,000 円（1 ページあたりのカラー図・カラー表の点数は問わない）

第四紀研究電子付録掲載要項

（2013 年 8 月 22 日評議員会制定、2021 年 4 月 8 日評議員会一部改正、2024 年 8 月 29 日評議員会一部改正）  
1. 第四紀研究電子付録の内容と条件  
第四紀研究電子付録（JAQUA Supplementary material）は、「第四紀研究」掲載原稿の内容の一部をなす図・表・文字記述の電子ファイルであり、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する J-STAGE Data にアクセスできるすべての者に対して無償で配布される。 また、第四紀研究電子付録（以下、電子付録とする）は、次の 1-1. から 1-5. の条件を全て満たすものとする。  
1-1. 日本第四紀学会員を含むインターネットからのアクセスに対して公開することに一定の価値・意義が

認められること。  
1-2. 著者によるオリジナルのものであること。  
1-3. 調査・実験・解析・計算などの一次データや事実の記載などであること。  
1-4. 掲載予定原稿に、非常に重要な補助的情報であること。  
1-5. 事前・同時に他所で公表して引用することが困難な内容と認められること。  
なお、J-STAGE Data で公開される電子付録には、データの国内外への流通を促進するためメタデータと固有の DOI（Digital Object Identifier）が付与される。 また、オープンサイエンス推進のため、デジタルコンテンツの二次利用条件を表示する CC ライセンス（現在は CC BY-ND 4.0）も付与される。 以上にもとづき、J-STAGE Data で公開されるデータは J-STAGE の公開記事とは

別に単独で流通することがあり、なおかつ研究コミュニティや第三者に向けて再利用可能な状態で公開される特性がある。

## 2. 投稿時の指定と本文での引用

著者は、投稿時にあらかじめ電子付録とする図・表・文字記述を指定し、通常の投稿原稿の図・表と同様の形態で提出する。また、原稿の本文ではこれらを必ず引用する。

(例)…の結果を示す(図 S1, 表 S1, 付録 S1, 英語論文の場合は, Fig. S1, Table S1, Appendix S1)。

## 3. 公開の決定

編集委員会は、当該投稿原稿の受理審査時に電子付録の公開の可・不可を決定する。

## 4. 電子ファイルの形式と提出

著者は、受理された電子付録を編集委員会の指定する電子ファイルの形式に変換し、編集委員会が指定した期日までに提出する。これに関連して、編集委員会はメタ

データの修正や追加を依頼することがある。

## 5. 公開と公開後の変更

日本第四紀学会編集委員会は、提出された電子ファイルを電子付録として J-STAGE Data の定められた場所に公開する。J-STAGE Data にいったん公開された電子付録について、公開した内容の修正はやむを得ない場合かつ軽微なものに限り認められている。しかし、いったん公開した後に重大な修正が必要となったものについては修正で対応することはせず、編集委員会において撤回の手続きをとったうえで JST に依頼して非公開化(削除)する。修正または撤回の必要が生じた場合、責任著者は編集委員会に対し、速やかに書面をもって申し出て協議を行う。編集委員会は、求められた修正や撤回の妥当性を審査し、適当と判断した場合には所定の手続きを進める。

付則 本規定は 2024 年 8 月 29 日から実施する。